

研究課題名	消化器がん外科治療患者における身体機能の推移とリハビリーションの効果に関する後方視研究
研究期間	2025 年 11月 14日 ~ 2029 年 3月 31日
研究の対象	2024年12月1日 ~ 2027年11月30日の間に広島大学病院にて消化器がん（食道がん、胃がん、肝臓がん、すい臓がん、大腸がんなど）で手術をうけられて、リハビリの治療を受けられた方
研究の目的・方法	<p>研究目的：消化器がんに対して外科的治療を受けた患者さんの、術前から退院時、さらに退院後にかけての身体機能や栄養状態の変化の実態を明らかにすることです。また、これらの指標とリハビリテーションの内容や術後経過との関連を調べることで、患者さんの回復に影響する要因を明らかにすることを目指します。</p> <p>研究の方法：研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータを使用して、周術期における身体機能や栄養状態の変化と術後経過との関連について解析します。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	<p>情報：</p> <ol style="list-style-type: none"> 患者基本情報：年齢、性別、身長・体重・BMI、既往歴（併存疾患の有無と内容）、喫煙歴・飲酒歴、日常生活動作自立度（Barthel index）、がんの診断情報（腫瘍の種類、病理診断結果、病期、術前治療歴）、画像所見（筋横断面積）、手術記録・術後経過（術式、手術時間、術中出血量、術中合併症の有無、集中治療室への収容の有無と日数、再手術・再入院の有無）、術後在院日数、退院先を収集する。 身体機能指標：6分間歩行試験、握力（最大握力、持久力）、歩行速度、Timed Up and Go テスト（TUG）、片脚立位保持時間、ロコモ度判定、フレイル判定、体組成測定（Inbody S10）、栄養状態評価（Mini Nutritional Assessment-Short Form : MNA-SF）、QOL 評価（EQ-5D-5L）、身体活動量評価（Incidental and Planned Exercise Questionnaire : IPEQ） リハビリ実施内容：周術期におけるリハの提供状況を医療端末から収集する。算定されたリハビリテーション料区分、リハ開始日および終了日、リハ実施延日数、総実施時間時間と単位数、リハ実施内容。 <p>情報の管理責任者：</p> <p>広島大学病院リハビリテーション科 教授 三上 幸夫</p>
利用または提供を開始する予定日	2025年11月14日（実施許可日以降）
個人情報の保護	得られた情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別でき

	る記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。
外部への試料・情報の提供	ありません
研究組織	本学の研究責任者 広島大学病院リハビリテーション科 教授 三上 幸夫
その他	
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	<p>研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>広島大学病院 診療支援部リハビリテーション部門 担当者：浅枝 諒（理学療法士） 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5566</p>